

令和7年度 幼稚園10年経験者研修 実施要項

- 1 目的 教職経験10年めの教諭に対して、現職研修の一環として、個々の教諭の能力、適性等に応じて必要な事項に関する研修を実施し、指導力の向上等、教諭としての資質の向上を図る。
*この研修は、教育公務員特例法第24条「中堅教諭等資質向上研修」に相当する研修である。
- 2 対象 幼稚園の教職経験10年めの教諭等
- 3 日時等

回	日時	主題	会場等
1	5月14日(水) ～ 5月28日(水)	幼児教育の現状と課題 〔講義〕	オンデマンド開催
2	6月6日(金) 14:00～17:00	子ども理解と援助・指導の在り方 〔講義・協議〕	大阪府教育センター
3	7月4日(金) 14:00～17:00	「非認知的能力」を育む援助の在り方 カリキュラムマネジメントを意識した保育づくり 〔講義・協議〕	大阪府教育センター
4	8月27日(水) ～ 9月10日(水)	発達や学びの連続性を踏まえた幼小接続 ー小学校教育の観点からの架け橋期の カリキュラムー 〔講義〕	オンデマンド開催
5	9月26日(金) 14:00～17:00	支援教育・人権教育の観点を踏まえた子ども理解と学級経営 〔講義・協議〕	大阪府教育センター
6	11月13日(木) 14:00～17:00	円滑な幼小接続の推進 ー架け橋期のカリキュラム編成・実施 に向けてー 〔講義・協議〕	大阪府教育センター

※第1～5回は、「幼児教育アドバイザー育成研修A」と合同で実施します。

※第6回は、「園長等専門研修B」と合同で実施します。

- 4 会場 第1、4回 所属園等

第2、3、5、6回

大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 その他
- (1) 受付は30分前から。
 - (2) 来所時には、所属名・名前の入った名札を着用すること。
 - (3) 大阪府教育センターに、自家用自動車・バイク等の駐車はできません。
 - (4) (受講決定後～当日) 研修ポータルサイトで、事前連絡や課題等がないか確認すること。
 - (5) オンデマンド開催時は受講確認のため、研修個別ページにあるリンクから「視聴完了報告フォーム」に入力することをもって出席とします。
- 6 担当室 企画室

1 目的

教職経験10年めの教諭に対して、現職研修の一環として、個々の教諭の能力、適性等に応じて必要な事項に関する研修を実施し、指導力の向上等、教諭としての資質の向上を図る。

2 「幼児教育に関わる教職員の育成指標」の対象項目

	I			II			III			IV		V			VI		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
第4期																	
第3期	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2期	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第1期																	

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	準備物・事前課題
1	幼児教育の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義を通して、幼児教育における国の動向や大阪府の現状と課題について学び、幼小接続等の今日的課題について理解を深める。 ・ 講義を通して、幼稚園教育要領等の趣旨に基づく子ども主体の保育について学び、自園の課題の解決につながる保育実践力を身に付ける。 	
2	子ども理解と援助・指導の在り方	講義、協議を通して、乳幼児の発達等の状況を踏まえた幼児期の終わりまでに育ててほしい姿について学び、この時期にふさわしい援助・指導の在り方について、理解する。	
3	「非認知的能力」を育む援助の在り方	講義、協議を通して、幼稚園教育要領等の趣旨を踏まえ、「非認知的能力」の重要性とそれを育む援助の在り方について学び、子ども理解と関連させて理解する。	
	カリキュラムマネジメントを意識した保育づくり	講義、協議を通して、園の目標を実現するための学級経営計画や保育の立案・実施・評価・改善の一連の適切な実施について学び、研修等で指導する際の留意点等について理解する。	準備物 自園の年間指導計画、自園の教育課程または全体計画、所属に応じた要領
4	発達や学びの連続性を踏まえた幼小接続ー小学校教育の観点からの架け橋期のカリキュラムー	講義を通して、小学校教育の観点から見た幼小接続の現状を学び、小学校教育における「幼児期の学び」を基礎とした取組みについて理解する。	

5	支援教育・人権教育の 観点を踏まえた子ども 理解と学級経営	<ul style="list-style-type: none"> ・講義、協議を通して、ユニバーサルデザイン等の効果的な支援の在り方を学び、障がいについての認識を深めるとともに、違いを受けとめ、ともに豊かに育ちあえる学級経営について理解する。 ・講義、協議を通して、所属園等での実践を踏まえ、自らの成果と課題をまとめ、考えを深める。 	
6	円滑な幼小接続の推進 －架け橋期のカリキュ ラム編成・実施に向け て－	講義、協議を通して、架け橋期のカリキュラム編成・実施に向けた具体的な方策について学び、幼小接続における自園所の現状を整理し、さらなる接続の推進のために、自園所に必要な取組みを考える。	準備物 5歳児の年間カリキュラムまたは、架け橋期のカリキュラム

4 「幼児教育に関わる教職員の育成指標」との関わり

求められる資質・能力		第2期	第3期	研修回
I	1 人権尊重の精神	教職員と円滑なコミュニケーションをとる	教職員と連携し、園の実態を把握する	1、5
	2 学び続ける力			1、4
	3 組織の一員としての姿勢			3、6
II	4 健康支援・食育の推進	子どもが安心安全に生活できる環境を提案する	子どもが安心安全に生活できるよう、他の教職員に助言する	1
	5 環境及び衛生管理			1
	6 危機管理			1
III	7 読み取る力	子どもを理解し、適切な対応をする	子どもを多角的に理解し、他の教職員に助言する	2、3、5、6
	8 援助する力			2、3、5、6
	9 記録する力			2、5、6
IV	10 障がいのある子どもに対するきめ細かな対応	子どもを集団の中で自己発揮できるよう援助する	子どもの状況を適切に把握し、他の教職員に助言する	1、5
	11 海外から帰国した子どもや外国にルーツのある子どもの支援			1、5
V	12 教育及び保育内容（指導計画）	発達段階を考慮した教育及び保育内容の充実を図る	他の教職員に教育及び保育について助言する	2、3、6
	13 環境構成			2、3、5、6
	14 保育の展開			2、3、5、6
VI	15 保護者との連携、子育て支援	必要な関係諸機関とつながる	状況に応じ、関係諸機関と連携する	1、2
	16 関係機関との連携			1、2、3、4、6
	17 小学校との接続			4、6